

2024 2/13

No.2204

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



平塚市や神奈川中央交通などが平塚駅周辺で自動運転バスの実証実験を行った。自動運転の「レベル2」で、運転手がハンドルを握らず走行した。



視点点描	3
月面探査 映画のよう	
講演録	4
努力は夢をかなえてくれる 落語家 蝶花楼 桃花	
蝶花楼桃花のNEWS 箸休め	7
侘び寂び	
特集	8
物流24年問題 輸送力不足に 「いかに安く」の発想から転換を	
政治双眼鏡	12
「開かれた共産党」へ三つの壁 委員長に田村氏、23年ぶりトップ交代	
よんななエコノミー	13
日航、伊藤忠、サッカー主審… 女性活躍を物語る1年に	
かながわTODAY	14
1月の主な経済ニュース	

事務局だより

◇2024年3月定例講演会

3月4日（月）午後1時30分
～3時

横浜ベイシェラトン ホテル
& タワーズ（横浜駅西口）

講師：ウエイズトヨタ神奈
川社長 宮原 漢二 氏

演題：スポーツとともに目指
す地域活性化 ～新しいうれ
しい！をつくる～

◇2024年4月定例講演会

4月17日（水）午後1時30分
～3時

ホテル、ニューグランド（横
浜市中区）

講師：ファンケル名誉相談役
ファウンダー 池森 賢二氏

【お知らせ】神奈川政経懇話会では、会報「政経かながわ」に会員企業の新商品の紹介、地域貢献活動、人事などジャンルを問わずさまざまな会員情報を掲載しています。掲載の問い合わせなどは事務局 ☎045（226）2121。

視点 点描



月面探査 映画のよひ

陽の光を浴びて、再び動きだしたとのニュースに思わず頬が緩んだ。過酷な環境で踏ん張る姿を擬人化してしまい、何だかとてもいとおしく思える。

1月20日に月面着陸をした宇宙航空研究開発機構（JAXA）の探査機「SLIM」のことである。JAXAは相模原市内に研究キャンパスがあり、スリムの脚は

小田原市の鑄造会社「コイワイ」が製作した。着陸の会見時には横浜市歌のアレンジ曲が「宇宙っばい 壮大なBGM」として使われた。神奈川県にゆかりの多い存在だから、なおさら思い入れが深くなる。月面着陸は旧ソ連、米国、中国、インドに続く5カ国目の快挙だった。年明けから、悲しくつらいニュースが続く中で、久しぶりに

明るい話題でもあった。

スリムは月面での高精度着陸技術の実証機だ。「降りたい場所」から100メートル以内にピンポイント着陸させる世界でも前例のない難題に挑み、目標地点との誤差55メートルでの着陸を成し遂げた。

ただ残念なことに「逆立ち」状態での着陸となった。その姿を、着陸直前に分離された超小型変形ロボット「SORAQ」が撮影した。小さなロボットがけなげに働く月に向け、声援を送りたくなる。

スリムは太陽電池パネルが西側を向き、発電できずにいた。着陸から約1週間後、パネルに太陽光が当たるようになり、発電が復旧した。搭載する特殊なカメラで月面の岩石撮影にも成功した。まるで映画のような展開に感動を覚えた方も多いだろう。

各国が月探査にしのぎを削るの

は、将来の宇宙開発の鍵を握る水資源を確保するためだ。月には局所的に氷の状態で存在するとみられ、狙った地点に探査機を降ろす技術は欠かせない。

月の資源開発をはじめ、大国間の対立が宇宙空間にも及びつつある。日本は独自技術の開発とともに、平和利用へのルールづくりでも先導役を担いたい。

月は約2週間ごとに昼と夜が入れ替わる。2月に入り、着陸地点は「日没」を迎えて、スリムはまた「休眠」に入った。月面の温度は日中は100度超、「夜」は氷点下約170度にもなる過酷な環境である。

昼夜を超えて、再々稼働できるか。皆さんが当コラムを読まれているところに、スリムがまた目覚め、動きだしていることを願う。

（統合編集局文化部長・

桐生 勇）